



兵庫県議会議員

## 橋本なるとし

暑い夏がやってきました。一雨ごとに山の緑が色濃く豊かになっていきます。兵庫県では今、県政を揺るがす事態が起きています。県の元幹部職員が作成した「斎藤元彦兵庫県知事の違法行為等について」と題する告発文書をめぐり、我が「ひょうご県民連合」(以下、県民連合)は真っ先に第三者機関による公平な調査を申し入れました。続いて定例会においては県民連合と自民党議員団が合同で提出した動議が可決され、県政としては51年ぶりとなる地方自治法第100条に基づく「文書問題調査特別委員会」、いわゆる百条委員会が設置されることになりました。今号では本問題を中心にご報告します。

兵庫県議会第 367 回定例会 審議日程：2024年6月4日～6月13日

### 発端

3月12日、西播磨県民局長だったW氏が「斎藤元彦兵庫県知事の違法行為等について」という文書を一部の報道機関、県議などに送付したことから始まる。そこには、政治学や防災分野の泰斗である五百旗頭真先生が亡くなられた経緯、斎藤知事の度を越したパワーハラスメント、物品の贈与を好むおねだり体質、3年前の知事選挙をめぐる疑惑、阪神オリックスの優勝パレードの開催費用をめぐる疑惑などが7項目にわたって詳細に記載されていた。文書は匿名であったものの県当局はW氏が作成したものと推測し、片山副知事自らが西播磨県民局に赴きPCを押収、W氏が文書作成を認めたとして、3月27日にW氏の定年退職を保留、県民局長を解任し、懲戒処分が行われる見通しを知事記者会見で表明した。この際、「文書は事実無根」、「うそ八百含めて流す行為は公務員失格」などかなり厳しい文言でW氏を批判したことは、その後繰り返しメディア等でも取り上げられている。

### 展開

4月、W氏は県の公益通報制度を利用して正式に本問題を通報した。県議会常任委員会においても本問題が取り上げられ、産業労働常任委員会で県民連合の上野幹事長から質問されたH産業労働部長が、高級コーヒーマーカー等を受領し、文書で指摘があってから返却していたことが明らかになった。このあたりから少なくとも「事実無根」とは言えないのではないかと、複数の議員やメディアが追及を強める。

### 攻防

5月7日、W氏に停職3月の懲戒処分が、物品受領していたH産業労働部長は(文書注意にあたる)訓告処分が行われた。翌日の記者会見では、メディアから処分の前提となる内部調査の在り方、処分の軽重の判断など多くの質問が寄せられ、知事は明確な答弁を避けながらも「弁護士の関与の下、一定の客観的、中立的な調査が行われ、適正な処分」だと強調する。これに対して9日、県民連合は知事に対して「第三者委員会の設置と百条委員会が設けられた際の協力」を申し入れ、これも多くのメディアに取り上げられる。また、他の会派や議員からも申し入れや独自のアンケート調査などが行われ、X(旧Twitter)などSNSでも多くの市民から関心が寄せられるようになる。16日、市民有志がSNSで連絡を取り合って県庁前でスタンディングデモを行い、事実解明とW氏の救済を求め、県議会(常任委員会)も傍聴した。



第5回県政報告会  
開催のご案内

📅 日時：2024年7月14日(日)15:00～16:30  
📍 場所：橋本なるとし事務所(宝塚市野上2-4-15)  
✉ 申込先：hashimotonarutoshi@gmail.com  
※ 席確保の都合上、事前にお申込みをお願いします。

## 逆転

5月16日、総務常任委員会において、丸尾議員と橋本は懲戒処分を行った人事当局を厳しく追及。橋本は、優勝パレードの担当を担った課長が亡くなられた事実をどう考えるのか、当局を質したが、総務部長からは「亡くなられた事実があったかどうかも含め回答できません」との答弁。しかし、一人の職員が関連して亡くなられたことは、潮目を変える出来事であったはずである。

また、知事が調査の客観性中立性の根拠としてきた弁護士について、文書で指摘されている県信用保証協会の顧問弁護士を務めていたことが判明し、利益相反に当たるのではないかと指摘も生じた。その後、県議会では全会派一致で、第三者による客観的中立的な調査を行うよう議長から知事への申し入れが行われ、知事は第三者委員会の設置を表明した。市民有志からは、第三者委員会にとどまらず地方自治法に基づく強力な調査権を有する百条委員会の設置を求める請願が、県民連合の小西議員を含む4名の署名を受けて提出される。こうした情勢の中で、最大会派の自民党議員団でも百条委員会の設置を目指す動きが本格化し、県民連合と合同提出に向けた調整が始まる。

## 成立

6月13日の本会議最終日、いよいよ表決が行われることとなった。当初、自民党は委員数を12名、県民連合は22名という提案であったが、最終的には少数会派や無所属議員の参加を認めるため、15名で妥結して合同での百条委員会設置動議を提出することとなった。なお、表決の方法について、維新の会から無記名投票の動議が出されたが、これは自民党からの造反を促すためであったと思われる。県民連合は、各議員の態度を明確にするため記名投票を求め、記名か無記名かを決める表決が記名投票で行われ、63対22で記名投票にて決することとなった。また、本番の表決では50対35(維新・公明・自民から造反1名)で百条委員会の設置が決まり、15名の委員が指名されることとなった。本会議では、県民連合の北上議員から懲戒処分の撤回やパフハラ・物品受領に関して厳しい追及があったほか、自民党議員からも片山副知事が自らの辞職と引き換えに百条委員会を断念するよう工作していた件が追及された。

**県民に心配されるのではなく、  
信頼される兵庫県であるために、  
二元代表制をしっかりと機能させていきます。**



出典:産経新聞 2024年5月9日

### 大原野西部で 唯一の信号機撤去!? 警察の方針転換を迫る

全国的に信号機の整理を進める方針が警察庁から示されています。そんな中、宝塚市北部の西谷自治会連合会へ信号機撤去の相談があり、大原野西部にある自然の家前交差点に決まったとのことで、西部自治会で説明会が開かれました。しかしこの交差点は、宝塚と川西から三田へ向かう主要道が交わる交通量の多い場所で、地域住民からは大反対が起こりました。橋本からも、決定プロセスの不明瞭さ、根拠となる通行量の不正確さ、誤ったピーク時通行量の測定による不当な決定であるとして、正確で公平な再調査を行うよう申し入れました。その結果、5月下旬に再調査が行われ、同交差点はピーク時通行量が基準となる300台/時を大幅に上回っていたことから、撤去の方針が撤回されました。

●学歴: 宝塚武庫山幼稚園 / 宝塚第一小学校 / 大阪教育大学附属池田中学校・高校 / 京都大学法学部卒

●職歴: 宝塚市役所 / 衆議院議員桜井シュウ秘書 / 兵庫県議会議員(2023年4月~) / 立憲民主党兵庫県連 政務調査会長

発行元: 兵庫県議会議員 橋本なるとし

〒665-0022 兵庫県宝塚市野上2丁目4-15

0797-26-7588 / 0797-26-7589(FAX)

hashimotonarutoshi@gmail.com

https://hashimoto-narutoshi.com



橋本 なるとし

検索